

三次元CADの利用普及推進策

岡田克巳*
遠田治正**
大野真里**

要 旨

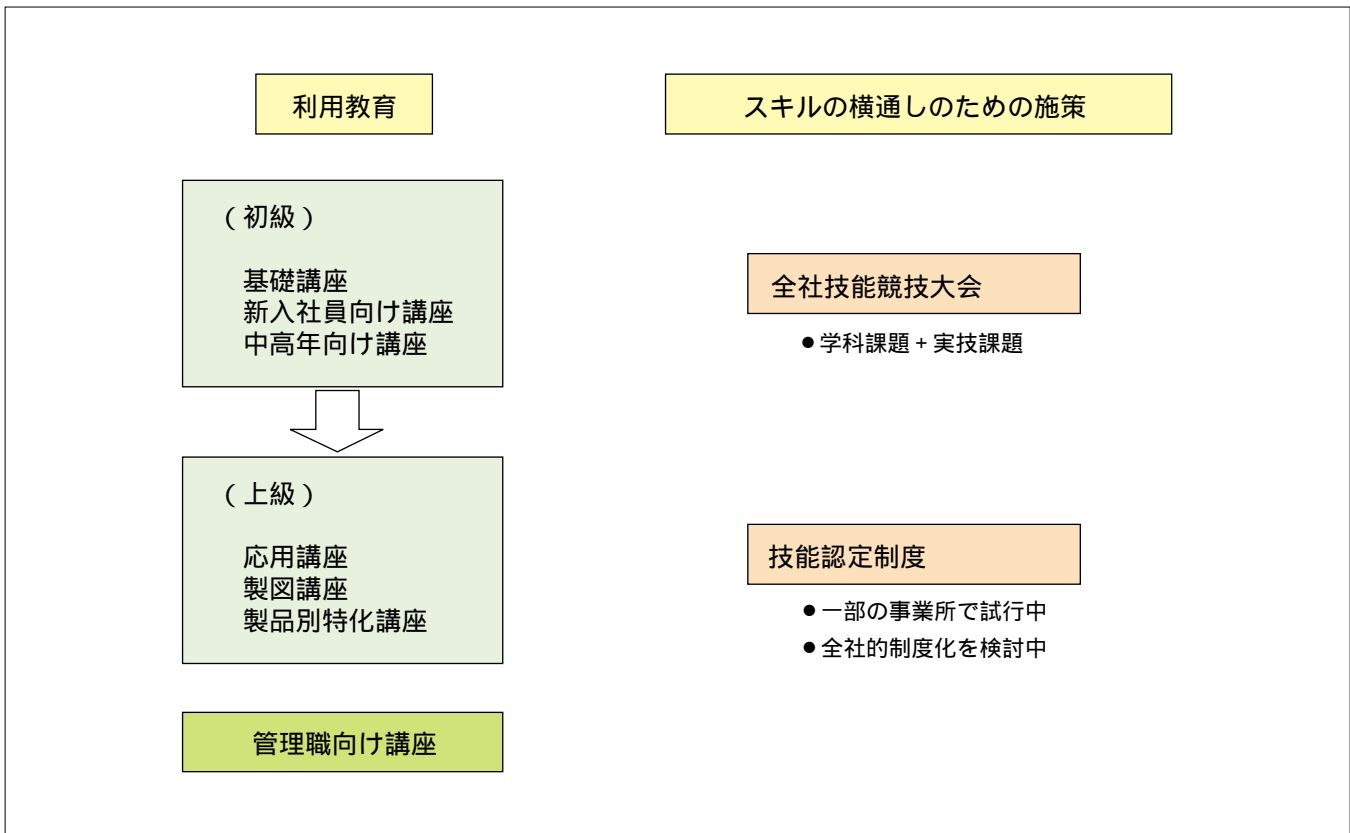
1996年度から開始された全社的な規模での三次元CADの推進に歩調を合わせ、利用者への普及推進策の一環として、スキル向上のための全社教育の場も設置した。当初は初級コースのみであった講座も 99年度からは上級コースを併設し、より充実した教育を行っている。

利用教育は、期間中、受講者を原則として社内の研修センターに宿泊させ、1人1台のパソコン環境の中で実施している。講座体系は、大別すると、初級教育、上級教育、管理職向け教育に分類される。初級教育は、標準カリキュラムが5日間の基礎講座を基本とし、受講者層別に、新入社員向け、中高年向けの講座を設置している。上級教育には、応用講座、製図講座、製品別特化講座が含まれる。将来的な姿としては、基礎講座と応用講座とを受講すれば、熟練者の概略的な指示を受けることによって設計業務が遂

行できるようになることを目指している。

一方で、スキルの横通しのための施策として、全社技能競技大会への種目追加と技能認定制度が挙げられる。全社技能競技大会は、全社的なスキルレベルの底上げを目的として、99年度から三次元CAD種目を追加した。しかし、参加選手が技術者であることに配慮し、その課題は設計技術を問えるものとしている。また、技能認定制度は、技術者の保有する要素技術を客観的に把握するための方法として一部の事業所で試行中であるが、これを全社的な制度に拡大するための方策について検討中である。

今後は、意匠設計部門への適用拡大と、自然発生的にニーズが生じてきた板金設計及び配線設計の分野への適用拡大を図り、全工程の三次元化とその定着化を図っていく予定である。



三次元CAD普及推進施策

三菱電機では、ニーズに合わせたバリエーション豊かな利用教育とスキル横通しのための施策の2本立てで、三次元CADの普及を推進している。